

特集

転換点としてのコロナ危機

コロナショックという異次元の衝撃の中でどのような変革と未来を構想するのか――

パンデミック後の未来を選択する
ウィルスの目線からの考察
山本太郎
(衆議院議員)

窓
オルガ・トカルチュク



コロナ時代のデモクラシー
吉田徹
(北海道大学)

コロナを生きた中東
世界の「例外」から考える、
ウィズコロナを生きたる術
酒井啓子
(千葉大学)

生みの底に降りて行く
「カミユベス」
田中純
(東京大学)

食料自給という政治責任の再確認
……
鈴木宣弘
(東京大学)

生活保障のさらなる徹底を
現場からの報告と提言
藤田孝典、今野晴貴、渡辺寛人、猪股正、竹信三恵子、指宿昭一、大内裕和
(東京大学)

「危機の時代」と財政の使命
神野直彦

感染症対策「日本モデル」を検証する
――その隠された恣意性
田中重人

新たな二〇〇年へ
――コロナ、総選挙、光州民主化運動四〇年
李泳采

韓国はいま何を「清算」しようとしているのか
金東植
(韓国労働運動の新天地平へ――キヤンドル革命がもたらしたものの金元重)

可視化された医療崩壊
――なぜ、かくも脆く？
伊藤周平

油価低迷とコロナ禍にあがくサウジアラビア
保坂修司

ベネズエラ大統領誘拐未遂事件
新藤通弘

入管の非人道的行為
つづく
織田朝日

電磁波に満たされる教育
子どもたちの健康への影響は？
加藤やすこ

総括 カジノの話はもう終わりにしよう
鳥畑与一

手記 留学生「失踪」事件
元東京福祉大学教員有志

デジタル・メディアとアナログ・ジャーナリズム
河原仁志

危機に自ら陥るマス・メディア
――権力との共犯関係を自覚できるか
立岩陽一郎

メディアの変容と民主主義
……
山田健太

人類は原料革命から卒業できるのか？
小野塚知二

気候変動の難問

岩波ブックレット A5判

加害者家族を支援する
――支援の網の目からこぼれる人々――
阿部恭子
978-4-00-271027-3 本体5800円

どうする!? 新型コロナウイルス
好評既刊
岡田晴恵
978-4-00-271026-6 本体5200円

第1回 社会とことば
吉里吉里人、憲法、コメ、原発など社会的なテーマと、
こだわり続けたことばをめぐるエッセイを選び抜き収録。
7月10日 発売予定

第2回 芝居とその周辺
若き日の投稿、演劇人との交友、自作を綴るエッセイ、シエイクスピアやチェーホフに関するレッスンシリーズなどを収録。
7月10日 発売予定

井上ひさし 発掘エッセイ・セレクション 全3冊
【井上ひさし】 本体各6000円
〈内容案内進呈〉

小説をめぐって

芝居とその周辺

社会とことば

感染症と文明
――共生への道――
山本太郎
関いは悲劇の準備にすぎないかもしれない。
共生の道はあるのか。
文明発祥以来、社会が作り上げてきた流行の諸相を描き出す。
【岩波新書】 978-4-00-431314-4 本体7200円

4.5万部突破

ナオミ・クライン
上：978-4-00-023493-1 下：978-4-00-023494-8 四六判 本体各6900円

幾島幸子・村上由見子訳

戦争、自然災害を含む大惨事を過激な市場主義経済への荒療治に利用する「グローバル資本主義」の正体。

戦後日本政治の総括

長引く混乱の原因と再生への道を探る

数多くの疑惑と問題、新型コロナウイルス対応の迷走……なぜ日本の政治はこうなってしまったのか。この国の希望はどこにあるのか。稀代のジャーナリストが描く、戦後の総括と再生への展望。

田原総一郎
978-4-00-061410-8 四六判 本体16000円

戦後日本政治の総括

田原総一郎

岩波書店

〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5 <http://www.iwanami.co.jp/>
お求めの岩波書店の出版物が小売書店の店頭になければ、その書店にご注文ください。小社に直接ご注文の場合は、ブックオーダー係(049-287-5721)をご利用ください。〔定価は表示価格に消費税が加算されます。〕